場所・面積

静岡市葵区赤松、前林、芝原、南、平柳、牛田、天神前、野丈、諏訪、漆山、114ha

管理目的

・遊水地としての治水管理を行うことを目的としているが、一部は地域住民の憩い、環境教育の場として提供することを目的として整備されている。



サイト概要

・静岡県静岡市に位置する麻機遊水地は、巴川の治水施設として昭和50年から整備が始まった。造成工事で掘り起こされたことによって蘇った湿地性の植物や、池に棲む魚類・水生昆虫、それらを餌とする野鳥など、多くの動植物が生息・生育する湿地環境となっている。

土地利用の変遷

・麻機遊水地のある地域は、元来低湿地帯で沼地が散在しており、沼では伝統漁法の「柴揚げ漁」やカモなどの狩猟が行われていた。昭和30年代後半から、食糧増産を目指した土地改良事業などにより、沼は水田として整備され、徐々に姿を消していった。1974年（昭和49年）の七夕豪雨を契機に、洪水時の水位を下げるため、水田から遊水地への整備が始まった。

サイト周辺の環境

・静岡県静岡市の中心市街地から北に約５㎞に位置する。周囲には住宅地と水田が広がり、三方を山地に囲まれている。

アピールポイント

・地域の環境保全活動団体等からなる協議会を設置しており、自然再生活動や保全活動、市民の利活用が活発に行われている。（基本方針：治水機能を確保しつつ、地域の自然環境や立地特性を活かした自立発展型の地域活性化を目指す）
・多様な主体が連携し保全に取り組んでいる。（行政、企業、学識経験者、自治会、NPO法人、学校、病院等）
・もともと氾濫原湿地だったため、多くの絶滅危惧植物やトンボ類の生育場所となっている。

生物多様性の価値

価値（１）公的機関等によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場

【選定されている制度名】

環境省　日本の重要湿地500（2001年）

【選定理由や内容】

大規模なミズアオイの自生地であり、環境省レッドリスト2020において絶滅危惧Ⅱ類に指定されているオオアブノメや、準絶滅危惧種のタコノアシが生息している。



写真番号：１　写真の撮影年月：2019年９月28日
写真の説明：ミズアオイ



写真番号：２　写真の撮影年月：2022年10月23日
写真の説明：タコノアシ

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

・河川周辺の氾濫原湿地を遊水地として整備した、大雨が降ると広く冠水する場所である。
・治水整備により、田畑が掘り起こされたことから、土中に埋もれていた種子（シードバンク）がよみがえり、数多くの攪乱依存種が芽生えた。

【確認された希少種】

2022年に第３工区において実施した植生調査においては、環境省レッドリスト2020及び静岡県レッドデータブック2020に該当する植物種が、10種確認されている。



写真番号：３　写真の撮影年月：2021年5月22日
写真の説明：オオアブノメ



写真番号：４　　写真の撮影年月：2022年10月15日
写真の説明：サクラタデの群落

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
【管理計画の内容】 ・麻機遊水地保全活用行動計画を策定 ・希少種の種子が含まれる表土を活用した水田、湿地の再生 ・水田表土の残されているエリアを人為的に攪乱しミズアオイを中心とする攪乱依存種の保全活動 ・オニバスなどの保全活動	**【モニタリング対象】** 植物相 **【モニタリング場所】** 麻機遊水地　第１・第３・第４工区 **【モニタリング手法】** 確認した種数を数える **【実施時期及び頻度】** 4年に1度 **【 実　施　体　制 】** 専門事業者に委託